

平成26年(2014年)10月31日

練馬区教育委員会

練馬区豊玉北6-12-1

☎3993-1111

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikulink.html>

教育だより

子供たちの 安全・安心のために

教育委員会では、児童・生徒の安全を確保するために、保護者や地域住民の協力を得て行う「学校安全安心ボランティア」をはじめ、民間警備員の派遣、防犯に関する指導や助言等を行う学校防犯指導員の配置など、さまざまな取組を行っています。また、平成26年9月13日(土)には、東京都と連携し、豊玉東小学校の学区域でひまわり110番の駆け込み訓練を実施しました。



◇民間警備員を派遣しています

平成26年2月から、不審者情報等により重点的な見守りが必要とされる学校へ民間警備員を派遣し、登下校の見守りと周辺の巡回を行っています。



◇学校防犯指導員を配置しています

平成26年4月から、教育委員会に警察官OBを学校防犯指導員として配置し、区と警察との連携を強化しながら、学校等の防犯に関する助言・指導や支援などを行っています。

◇「ひまわり110番」への駆け込み訓練を実施しました



ひまわり110番は、子供たちを犯罪から守るために、緊急避難所として登録している家庭や店舗で、区内に約5,300か所あります。

9月13日(土)に豊玉東小学校の学区域で実施した訓練では、不審者役につきまとわれた児童が、防犯ブザーを鳴らしながら、ひまわり110番のステッカーを目指して駆け込みました。また、駆け込み先の協力者も、子供の保護の仕方や110番通報の手順などを確認しました。

(※区内の一部地域では、異なるマークを使用しています。)



【問合せ】教育総務課 庶務係(電話 5984-5609)

春日町図書館 読書感想画展！ ～夏の子供向け事業報告～

平成26年7月29日(火)から8月24日(日)まで、春日町図書館ギャラリーにて「春日町図書館 読書感想画展 2014」を開催しました。

本を読んで感じたこと、印象に残ったシーン、好きな登場人物などを子供たちに自由に表現してもらう「読書感想画」。絵で表現することで、より本の世界を楽しんでもらうことを目的としています。今年も“おもしろかった”“こわかった”“びっくりした”さまざまな思いの込められた力作がそろいました。生後9か月の赤ちゃんから小学生まで幅広い年齢の子供たちによる50点の作品が集まり、ギャラリー展示がとてもにぎやかなものとなりました。



期間中は多くの方が足を止め、一つ一つ丁寧に眺めていました。また、紹介された本を手にとって見る事ができるよう、カウンター脇に特集コーナーを設置し、貸出を行ったところ大好評でした。描いてくれた作品を見て、「本を読みたくなった」、「この絵が好き」と感想を教えてくれる子供たちも増え、春日町図書館の夏休み恒例行事として定着してきました。

【問合せ】光が丘図書館（電話 5383-6500）

図書館ネットワーク(区立図書館と学校図書館の連携) ～子供たちの読書活動を区立図書館がサポートします～

区立図書館では、各学校に出向いて児童・生徒たちの読書活動を支援するさまざまなメニューを揃えています。本に親しむためのおはなし会やブックトーク、本を読んで問題を解くクイズ形式の行事「本の探検ラリー」。また、学校図書館や学級文庫を充実させるため、区立図書館の豊富な資料をクラス・学年単位で最大300冊、最長3か月まで貸出をしています。その他、先生と連携をして、調べ学習のテーマに沿った本の探し方や授業に必要な本等の情報提供、学校図書館内の展示などのお手伝いをしています。

また、区立図書館の仕事の紹介や利用の方法、普段は見ることのできない図書館の裏側を案内する図書館見学、中学生の職場体験など、毎年多くの児童・生徒たちの受け入れも行っています。

区立図書館は、これからも先生や保護者の皆様、学校図書館ボランティアと共に、学校図書館をサポートし、児童・生徒が読書に親しむ機会の輪を広げていきます。

【問合せ】光が丘図書館（電話 5383-6500）

平成26年10月1日貸出分から 本の貸出期間を2週間にしました

区立図書館では、本の予約待ち日数の短縮と、より多くの方に利用していただくことを目的として、平成26年10月1日(水)から、3週間だった本の貸出期間を2週間に変更しました。ご理解・ご協力をお願いします。

(※CDなど視聴覚資料の貸出期間は、今までどおり2週間のままです。)

【問合せ】光が丘図書館（電話 5383-6500）



夏！児童館のおもいで



練馬の児童館には「夏を楽しむ」イベントがぎっしり。栄町児童館では、屋上で「夕涼み会」、親子でヨーヨーやかき氷を楽しみました。北町児童館では、「チルド連」という「連」で、きたまち阿波踊りに参加しました。練り歩いたあとの子供たちの瞳はキラキラ輝いていました。三原台児童館では、お化けトンネルを楽しみ、心も体もひんやり涼しくなりました。入り口で泣き出す子もいましたが、無事トンネルを抜けた子供たちは誇らしげでした。

当日の運営などには、地域の皆様のご協力をいただきました。

* 児童館は秋もたくさんのイベントを準備しています。秋の児童館にも遊びにいらしてください。詳しくは区ホームページや児童館だよりをごらんください。



7月12日 栄町児童館夕涼み会
「赤いヨーヨーがいいな」550人の参加がありました



7月26日 北町児童館きたまち阿波踊りチルド連、みんなの憧れは高張提灯を持つリーダーです



8月28日・29日 三原台児童館のお化けトンネル。何度もチャレンジする子がたくさんいます

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/jidokan/index.html>

【問合せ】子育て支援課 子ども育成係（電話 5984-5827）

社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

社会を明るくする運動は、法務省が主唱する全国的な国民運動です。全ての人々が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、今年で64回目を迎えました。犯罪や非行を生まない家庭・地域づくりや、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことは大切なことです。

犯罪や非行のない地域をつくるために、一人一人が考え、参加するきっかけとなることを目指して、7月の強調月間に2つの行事を開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。

【フェスティバル】

平成26年7月6日（日）に平成つつじ公園芝生広場で開催しました。社会を明るくする運動のPRのほか、区内の小中学生や町の皆さんによるダンスや吹奏楽などのパフォーマンス、テントではアートバルーンや模擬店、白バイ展示などが行われ、来場者を大いに楽しませました。

【つどい】

平成26年7月23日（水）に練馬文化センター小ホールで開催しました。昨年の“社会を明るくする運動”作文コンテストで優秀賞を受賞した作品の朗読や元オリンピックマラソン選手の宇佐美彰朗氏による講演「オリンピックを走って得たもの～もう一人の自分にうちかつため～」と櫻井亜木子氏による鶴田流薩摩琵琶の演奏を行いました。



【問合せ】青少年課 青少年係（電話 5984-4691）



教育相談室をご利用ください



教育相談室（分室）では、不登校やいじめ、発達の遅れなど、子供や保護者の方のさまざまな悩みに対し、教育・心理・医療の専門スタッフが相談に応じています。相談の内容に応じて、カウンセリング、プレイセラピー、箱庭療法等を行います。相談室は区内に3か所あります。ご利用の際は、ご都合のよい相談室にお申込みください。

また、電話での相談や子供電話相談も行っていますので、お気軽にご相談ください。

* 来室のご相談は予約制です。

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikucenter/kyoikusodan/kyoikusodanshitsu.html>

【問合せ】学校教育支援センター（電話 6385-9911）

◎相談日時

月～土曜 午前9時～午後5時（金曜は午後6時まで）

※ 祝休日を除く

◎来室相談申込み・電話相談 各相談室（分室）へ

・ 学校教育支援センター 教育相談室

（光が丘 6-4-1）TEL 5998-0091

・ 練馬分室（豊玉北 5-15-19）TEL 3991-3666

・ 関分室（関町北 1-21-15）TEL 3928-7200



平成26年度 練馬区立中学校生徒海外派遣



練馬区では、友好都市提携を結んでいるオーストラリア・イプスウィッチ市に毎年、区立中学校生徒68人(各校2人)を派遣しています。派遣生は、英会話、オーストラリアと日本に関するなどを6回の事前学習で学び、練馬区の親善大使として海外派遣に臨みました。派遣生は、授業体験を行った学校だけでなくイプスウィッチ市の皆様からも温かい歓迎を受けました。相互交流を通して、異なる文化や生活習慣を体験するとともに友好親善に努め、新たな架け橋を築いてきました。



ゴールドコーストの海岸にて

初めての研修で課題がたくさんありました。今日の研修で、これからどのような事をやるのかが分かりました。思っていたよりも大変でこれからの研修をがんばろうと思いました。



事前学習での様子

英会話研修で今日はジェスチャーがよく使えました。文全部の意味が分からなくても、文の中の単語を聞き取れば質問もできるので、一つ一つの単語に注意していきます。そのために単語はできるだけ覚えるようにしたいです。

学校の授業は全部英語。社会の授業でしたが、英語の授業みたいでした。



訪問校での授業の様子



イプスウィッチ市



ウェルカムセレモニー会場の学校にて

飛行機を降りて、ウェルカムセレモニーが終わると、もうホストファミリーとの生活が始まりました。

【海外派遣の日程】

- 7月26日(土) 出発
- 7月27日(日) ホームステイ(～8月1日・6日間)
ホストファミリーとの交流
- 7月28日(月) 授業体験(～7月31日・4日間)
訪問校で現地生徒との交流
- 7月31日(木) さよならパーティー
- 8月1日(金) ブリスベン・ゴールドコースト市内見学
- 8月2日(土) 帰着

国を越えて

私たち海外派遣生六十八人は、五月のオリエンテーションを皮切りに、事前学習や英会話研修を通して知識を深めていきました。研修を重ねる中で私は、「自分の考えをしっかりと相手に伝えたい」という目標を立てました。目標をもったことでオーストラリアへ向ける思いがさらに大きくなり、研修により熱意をもって取り組むようになりました。

大勢の方々に見送られて出発した私たちは、七月二十七日にオーストラリアに到着しました。日本とは異なる言語や町並み、空気に触れ、改めてこの地で数日間過ごすことを実感しました。

私のホストファミリーは、二歳年上の女の子のいる家族で、緊張気味の私に、日本語で自己紹介をしてくれました。その温かい出迎えに緊張もほぐれ、少しずつ言葉を交わすことができるようになりました。また、会話の中で簡単な英語を選んでくれたり、実際にやってみせてくれたりと、そのような心遣いがとてもうれしかったです。

私はオーストラリアでの生活を通じ、言語は違っても相手に伝えたいという気持ちがあれば、必ず理解し合えるのだと実感しました。それと同時に、もっと英語力を身に付け、スムーズに会話ができるようになりたいと強く思うようになりました。

一週間という短い期間でしたが、この経験から得たものはたくさんあります。今後、多くの人にこの体験を伝え、異文化への理解と交流を深められたらと思います。そして私は、これからこの経験を生かして日本と海外の架け橋になれるよう、学びを広げていきたいです。

最後に、海外派遣の実施にあたり、御支援くださった皆様に心より御礼を申し上げます。

練馬区立開進第二中学校 遊佐 くらら

イプスウィッチ・ステート・ハイスクールの生徒が 練馬区を訪問しました



歓迎パーティーの様子

ホストファミリーと顔合わせをしたり、オーストラリアの歌を紹介したりして楽しく過ごしました。

楽しい時間を過ごせました。ありがとう。



体験授業（英語）：大泉学園

9月26日（金）、イプスウィッチ・ステート・ハイスクールの生徒19人と引率者3人が練馬区を訪れました。30日（火）までの滞在期間中、本区の中学生の家庭でのホームステイなどを通して、日本の生活や文化に触れました。

26日（金）の夕方には歓迎パーティーが開催されました。また、29日（月）には開進第二中学校、光が丘第一中学校、大泉桜学園において授業体験を行い、練馬区の小中学生と交流を深めました。

【問合せ】教育指導課 指導主事（電話 5984-5759）

子供を虐待から守るために ～11月は児童虐待防止推進月間です～

練馬子ども家庭支援センターでは、児童虐待防止のためのネットワークをつくり、虐待の予防・早期発見と子育て支援に努め、子育ての悩みなどの相談に応じています。

11月は国が定める児童虐待防止推進月間です。練馬区では、児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーンに協力し、発表会・講演会やパネル展を行います。

●養育家庭体験発表会と講演会

①里親による里子の養育体験発表会（東京都主催）

②講演会「児童虐待予防の観点からの子育て支援」

講師 武田 信子 氏（武蔵大学人文学部教授・臨床心理士）

日 時・・・11月21日（金）午後1時～午後4時15分

会 場・・・生涯学習センター ホール

※手話通訳、保育室（生後58日以上のお子さん対象。定員10名）あり。



●児童虐待防止パネル展

日 時・・・11月17日（月）～12月1日（月）午前8時30分～午後8時

（土・日曜、祝日は午前8時45分から、最終日は正午まで）

場 所・・・区役所本庁舎 1階アトリウム

【問合せ】練馬子ども家庭支援センター（電話 3993-8155）



『地域で子供を育てよう!』

～子供の教育に関する講座の企画・運営を
団体に委託し実施しています～



すまいるねりま遊遊スクール・・・主に知的障害のある小・中学生の児童・生徒を対象に、自然観察、工作、料理、音楽、スポーツなどの学びや体験を通して、他者との交流を深め休日の居場所となる講座を開設しています。

★今年も『秋さがしのハイキングにいこう!』を企画しています。

■と き：11月30日(日) 高麗駅9時集合 ■ところ：埼玉県日高市巾着田周辺

■内 容：秋の自然の中でクイズ、スポーツ、ハイキングを親子で楽しめます。

■定 員：20組(申込順) ■参加費：1人300円(保険料を含む)

■申込方法：11月4日(火) から27日(木) までの間に電話で受付

(受付時間は平日午前8時30分から午後5時15分までです。ただし、27日(木) は正午まで。)



◇今後の実施予定◇

11月：「音楽療法」、「親子で作ろう! 手作りコーンシチュー」、「軽量紙粘土でクリスマスフォトスタンドを作ろう」

12月：「和太鼓とエイサー! 親子でチャレンジ!!」、「親子で楽しむ音あそび」、「音楽で遊ぼう!」

1月：「いっしょにスポーツを楽しもう!!」 2月：「音楽遊び」、「音楽療法を体験しよう」

3月：「親子で作ろう! おこのみやき」

※ 参加者募集については、毎月発行する「練馬区教育委員会委託講座情報誌『らぽナビ』」(図書館、体育館などで配布しています)、区報および区ホームページなどでご案内します!

【問合せ】青少年課 育成支援係(電話 5984-1292)

人権週間行事「青少年のための講演と映画のつどい」を開催します

【第1部】講演「夢は叶う～自分の夢とみんなの幸せ～」

講師：のぶみさん(絵本作家)

絵本作品は160冊以上にのぼります。代表作は、アニメーションでのNHKおかあさんといっしょ「よわむしモンスターズ」、みいつけた!「おててえほん」など。絵本では「ぼく、仮面ライダーになる!」「しんかんくん」シリーズなど。内閣府「すくすくジャパン」のロゴマークを担当。絵本「ダンスアース」での、EXILE・USAさんとのコラボレーション、福島応援キャラクター「あたまがふくしまちゃん」を制作するなど、はば広い分野で活躍している練馬区在住ののぶみさんに、「夢を叶えること」について語っていただきます。



【第2部】映画「豆富小僧」/ (C) 2011「豆富小僧」製作委員会

妖怪なのに人を驚かせることができない落ちこぼれの豆富小僧が、旅の中で自分にしか出来ないことを見つける感動のアニメーション。

■と き：平成26年12月6日(土) 午後2時15分開場・受付開始

【第1部】午後2時30分～3時30分 【第2部】午後3時45分～5時20分

第1部か第2部のどちらか一方だけでもご覧いただけます。

■ところ：練馬区立生涯学習センターホール(豊玉北6-8-1)

■対象等：小学生以上250名(講演会はお申込みが必要です) ※小学生は保護者同伴、区内在住・在学者優先

■入場無料

■講演会の申込方法：11月11日(火) から12月3日(水) の間に電話またはファクスで受付

(電話での受付時間は平日午前8時30分から午後5時15分までです。氏名・年齢・住所・電話番号をお伝えください。)

■その他：保育室(1歳以上の未就学児対象・定員5名)、車いす席(定員2名)を利用される方は、11月11日(火) から11月28日(金) の間に受付(先着順) しますので、青少年課育成支援係へ電話で詳細をおたずねください。駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

【問合せ】青少年課 育成支援係(電話 5984-1292 FAX 5984-1221)



“豆富小僧”
©2011「豆富小僧」製作委員会

ねりま小中一貫教育フォーラム

小中一貫教育の研究や実践を進めている学校からの取組発表と小中一貫教育の進め方を考えるシンポジウムを行います。

日 時：平成27年1月23日（金）午後1時45分～4時

場 所：練馬文化センター 小ホール（練馬1-17-37）

一般参加定員：200名（申込先着順）



中学校の先生からハードル走の説明を受ける小学生

申込方法

メール・ファクス・ハガキに「①ねりま小中一貫教育フォーラム参加希望 ②参加希望人数 ③代表者の氏名・連絡先メールアドレスまたは電話番号」を明記して、1月9日（金）午後5時までに下記へお申込みください。

問合せ

教育企画課 新しい学校づくり担当係

電話 5984-1034 FAX 3993-1196

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

メールアドレス atgakko@city.nerima.tokyo.jp

発表を行う学校

(1) 小中一貫教育研究グループ

①豊玉中・豊玉小・豊玉南小

②中村中・中村小・中村西小

③開進第二中・南町小・向山小

④田柄中・田柄小・田柄第二小

⑤南が丘中・南が丘小・南田中小

⑥大泉中・大泉小

(2) 小中一貫教育実践校・連携校

①豊玉第二中・豊玉第二小・豊玉東小

②石神井東中・石神井東小・富士見台小

(3) 小中一貫教育校大泉桜学園

小学校の教科書採択が行われました

平成27年度から練馬区立小学校で使用する教科書が、8月8日（金）に開催された教育委員会で採択されました。

今回の小学校教科書採択については、4月21日（月）に小学校教科書協議会へ調査研究を諮問し、7月23日（水）に開催された教育委員会において、同協議会から答申を受けました。

この答申を受けて各教育委員が調査研究を行い、8月8日（金）に開催された教育委員会において、来年度から使用する教科書を表のとおり採択しました。

今回採択した教科書については、平成27年度から30年度までの4年間使用します。

種 目	発 行 者	種 目	発 行 者	種 目	発 行 者
国 語	光 村 図 書	算 数	東 京 書 籍	図画工作	開 隆 堂
書 写	光 村 図 書	理 科	大 日 本 図 書	家 庭	東 京 書 籍
社 会	教 育 出 版	生 活	教 育 出 版	保 健	学 研 教 育 み ら い
地 図	東 京 書 籍	音 楽	教 育 出 版		

【問合せ】教育総務課 庶務係（電話 5984-5609）

教育委員会の動き（平成26年7月～9月）

平成26年7月から9月までの教育委員会は、定例会6回を開催しました。

主な議案、視察等は下記のとおりです。詳細については、教育委員会ホームページまたは【問合せ】にてご確認ください。

議 案

- 練馬区立小学校教科用図書の採択について ●特別支援学級教科用図書の採択について
- 練馬区立図書館条例施行規則の一部を改正する規則 ●平成26年度教育関係予算案（補正第1号）について（他2件）

協 議

- 練馬区立学校の教育課程の在り方について ●練馬区立中学校選択制度の今後のあり方について
- 平成26年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について

視 察

- こどもほっとステーション

～教育委員会は傍聴できます～

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の内容については、教育委員会ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時間の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点（原則として先着順）で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/index.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係（電話 5984-5609）

学校応援団の紹介 No.13

地域の方が中心となって、放課後の児童の居場所の確保・異年齢児の交流・読書の推進を図る組織「学校応援団」。シリーズ第13弾は区と応援団のつながりをテーマに、中村西小学校応援団・ひろばと、学校応援団サポート講座「ねりまチャージ」を紹介します。

中村西小学校応援団 中西っ子ひろば

中西っ子ひろばでは、さまざまなイベントを行っています。10月の「工作の会」では、おいしそうなオムライスを工作しました。また、中村西小学校応援団では、練馬区スポーツ推進委員・スポーツリーダーの協力で行う「スポすいひろば」を開催しています。9月の「ビーチバレー」ではチーム戦で白熱し、10月の「ダンス」では、子供たちが元気に踊っていました。ひろば・学童・校庭開放の子供たちが、放課後の楽しい時間を一緒に過ごしました。



ひろば室は全面カーペット敷き
子供たちは靴を脱いで過ごします



オムライス工作に夢中になる子供たち！



みんなで楽しくダンス！
いっぱい踊りました

学校応援団サポート講座「ねりまチャージ」

区では、東京学芸大こども未来研究所に委託して、学校応援団の活動をサポートする講座を実施しています。9月には、こどもパートナー認証講座「教育支援者とは」「こどもへの接し方」が実施されました。講座では、グループワークへの取り組みや、講師の熱い講演を聴いていただきました。学校応援団スタッフの方々は、子供たちのことを熱心に考え、それぞれの学校の情報を共有しました。

子供たちのために活躍する応援団のために、充実したサポートを今後も続けていきます。



【問合せ】子育て支援課 学校応援団・開放係（電話 5984-1057）

青少年育成地区委員会(谷原地区委員会)の紹介

区内には17の地区委員会があり、青少年育成地区委員が子供たちのために地域の特色を生かした行事や良好な社会環境づくりを行っています。

今回は、谷原地区委員会の「音楽祭」について紹介します。

谷原地区委員会では、地域の皆さんに参加しました来場して楽しんでいただく『音楽祭』を行っています。出演者は幼稚園児、小学生、中学生、お母さん、お父さん、70代の方々まで。

昨年は合唱、合奏、和太鼓、吹奏楽、ピアノ、ギター、バンド演奏、ダンス、南京玉すだれなど演目も多彩に、15団体の児童・生徒188人と大人75人が参加し、来場者約350人、委員スタッフ約50人で行われました。

今年も「第8回谷原音楽祭」を12月7日(日)に南が丘中学校で開催します。たくさんの方々に楽しんでいただける音楽祭にしていきます。

※写真は今年の音楽祭の様子です。



【問合せ】青少年課 青少年係（電話 5984-4691）